

提案依頼書

【NaGaOKa オープンイノベーションの概要】

目的	本事業は、次のプロセスを通じて、長岡市の地域特性や実情に適した課題解決策を導入し、市民生活の向上および行政事務の効率化、ひいては長岡版イノベーション※を推進することを目的とします。 ①長岡市が抱える地域課題や行政課題について民間企業等から ICT 等の技術を用いた解決アイデアを募集し、優秀な事業者を採択します。 ②採択された事業者には、長岡市の支援を受けながら製品・サービス等を用いた実証実験等を実施していただき、課題解決に資するかどうかを検証していただきます。 ③検証結果や市民・関係者の評価、費用対効果等に基づき、市は本格導入を検討します。 ※長岡版イノベーション 「変化の波を的確にとらえ、従前にとらわれず市民生活の向上と産業の活性化を実現する。」という基本方針のもと、様々な事業に取り組む。
長岡市について	新潟県のほぼ中央に位置し、市の中央部を日本一の長さと流水量を誇る信濃川が流れる、守門岳から日本海まで11の地域が広がる人口約27万人の都市です。 交通網としては上越新幹線や関越・北陸自動車道、寺泊港が整備され、首都圏や北陸・東北方面と本市を結んでおり、東京からは新幹線で約1時間30分の距離に位置しています。 現在、「長岡版イノベーション」の推進に力を入れており、変化の波を的確にとらえながら、従前のやり方にとらわれず、市民生活の向上や産業の活性化の実現を目指しています。 この NaGaOKa オープンイノベーションもそのための事業の一つであり、ほかにも市内の4大学1高専との連携やデザイン思考・新技術などの導入、起業支援によるビジネス創出、プログラミング教育による人材育成など、様々な取組を実施しています。
募集テーマ	①「中山間地域に住む高齢者の見守り支援」 【解決したい課題】 ・ 家族・集落内の共助力が低下する中でも高齢者の見守りができる仕組みの構築 ・ 高齢者が抱える健康リスク等への対応（緊急事態の検知や体調変化の早期発見） 【期待するサービス・技術】 ・ 少ない人手でも高齢者の見守りができる技術やサービス ・ 高齢者本人、親族、集落内の住民が、手軽に利用できる見守りの方法 ・ ICT を利用することで生活が楽しく便利になることを実感できるサービス ※詳細は3ページ目をご確認ください。
事業の流れ	募 集 期 間 令和2年9月1日（火）～9月18日（金） 個別ヒアリング 令和2年9月下旬

	採 択 通 知 令和 2 年 9 月下旬～10 月上旬 実 証 実 験 等 令和 2 年 10 月上旬～3 か月程度 ※遠方の応募者に対するヒアリングはテレビ会議等も活用して実施します。
実証実験に要する 経費への補助	補 助 金 額 補助対象経費相当額（上限 3 0 万） 補 助 対 象 経 費 機器調達・改良費、機器運搬費・設置費、旅費・交通費、 施設等利用料、謝金、安全対策費、広告宣伝費
市と事業者との 役割分担	【長岡市】 ・助成金の交付 ・実証実験の実施方法等に関する助言 ・実証フィールドの提供、幹旋、地元調整およびモニター募集等への協力 ・事業に関するプロモーションへの協力 【事業者】 ・プロジェクトの運営、進捗管理および進捗報告 ・プロジェクトに係る経費の負担 ・製品・サービスの改良 ・プロジェクトから得られたデータ等の整理、検証および市への提供 ・事業実績報告書の提出 ・製品・サービスに起因して生じたトラブル等への対応
募集期間	令和 2 年 9 月 1 日（火）～9 月 1 8 日（金）
審査項目	課題の理解度、提案の有効性、実現可能性、計画・体制、安全性
対象事業者	①法人格を有する者 ②個人事業主 ③①または②に該当する者によって構成される任意団体等 ※すでに提供可能な技術・サービス等を有する、または調達が可能であること。 ※事業所の所在地は問わないが、電話・テレビ会議等随時連絡を取れる体制を作れること。

【テーマ 中山間地域に住む高齢者の見守り支援】

課題背景	・長岡市の中山間地域では、家族や集落内の共助により高齢者の生活の様子や健康状態、安否の確認などの見守りが行われてきました。しかしながら、核家族化や少子高齢化により集落内の人口、とりわけ若手世代が減少し見守りの担い手不足に伴う共助力の低下が進んでいます。 ・転倒や急病など高齢者が従来から抱えてきたリスクに加え、最近では熱中症や感染症など新たなリスクも増えていることから、これまでよりきめ細かな体調管理等を行うことの重要性が高まっています。
解決したい課題	・家族・集落内の共助力が低下する中でも高齢者の見守りができる仕組みの構築 ・高齢者が抱える健康リスク等への対応（緊急事態の検知や体調変化の早期発見）
期待するサービス・技術	・少ない人手で高齢者の見守りができる技術やサービス (Must 要件) - ICT 機器等の操作に不慣れな高齢者等でも手軽に利用できる、監視されている感覚がほとんどないなど、利用者の負担感が小さいこと ・(Want 要件) - ICT を利用することで生活が楽しく便利になることを実感できること - 高齢者の ICT に対する苦手意識を払しょくできること - 技術・サービスの導入だけでなく、運用方法や導入後の展開まで一緒に検討していただけること
想定フィールド	中山間地域の集落（1 か所程度）に住む高齢者およびその親族
市の協力事項等	・モニターとなる高齢者および親族、その他関係者への協力依頼および各種調整 ・市政だよりなど、市の広報媒体による実証実験の周知広報 ・高齢者および親族へのヒアリングやアンケート等の実施支援
想定する実証実験と評価方法	ウェアラブルデバイス等を用いて、モニターとして選定した高齢者の見守りを行い、高齢者および親族へのアンケート等から有効性を検証する。
実証実験期間	令和 2 年 10 月～3 か月程度
実証実験後のフィールド	【長岡市内】 ・実証実験の結果や高齢者・親族・集落からの要望等に基づき、当該集落における本格展開を検討します。また、他の集落や中山間地域以外に住む高齢者へ広がる可能性もあります。 ※市内高齢者数 約 8 万 3 千人 ・また、高齢者以外の持病のある人や障害のある人の支援にも広がる可能性があります。 ・医療機関、ケアマネージャー、保健師等、医療福祉関係機関と親族が連携して高齢者の見守りを幅広く行える仕組みが構築可能であれば、各機関およびその利用者にも広がる可能性があります。 【長岡市外】 ・同様の課題を抱えている他の自治体への横展開が可能であると考えます。